



# 学校だより みなみありま



令和2年5月26日(火) 第3号  
南島原市立南有馬小学校  
文責：校長 永田 佳弘

## 思わずにっこり

教室の前にホタルブクロの花が飾ってありました。校庭ではアジサイの花も少しずつ色づき始めました。



最近、季節を感じる余裕が無かったのですが、植物は夏が近づいていることをそっと教えてくれています。また、県内でも蛍が飛ぶ様子も新聞で紹介されていました。南有馬でも見た人がいるのではないのでしょうか。



毎朝、1年生がアサガオに水遣りをしています。また、2年生は、婦人会の方々と一緒に植えたスイカやピーマンなどのお世話を足で運んでいます。

学校の日常が少しずつ戻ってきました。

## 努力の証(あかし)

体育の時間、昼休みなど鉄棒の練習を頑張っています。

逆上がり、後方支持回転(連続後回り)などいろんな技に挑戦しています。



できる人のやり方を見ているとやさしそうに見えるのですが、なかなか簡単にはいきません。手にマメができたり、皮がむけたりしながらも、諦めずに一生懸命に取り組んでいます。

それだけに、初めてできた時の表情はとても輝いています。

## 自分を知る

マスクの着用にご協力いただきありがとうございます。また、毎朝の検温も朝の習慣の一つになってきた頃と思います。みんなで協力して感染予防に努めていきましょう。



私たち職員も毎朝検温をしています。これまで自分の平熱について意識したことはありませんでしたが、毎日測ることで自分の平熱を知るようになりました。

私の場合、36.4度位です。こんな時だからこそ知ることができた自分の体です。ちょっと得をした気分です。

## 蛍(ほたる)のころ

金子みすゞ

ほたるのころに  
なりました。



新しい  
麦わらで、  
小さな蛍(ほたる)籠(かご)  
編みましょか、  
編み編み小径(こみち)を  
行きましょか。

青いつゆくさ(露草)、  
露のみち(径)、  
はだして踏み踏み  
ゆきましょか。

どうして・・・



カエルの鳴き声が聞こえるようになりました。田植えが近いことを感じます。



夏休みのラジオ番組の一つに「子ども科学電話相談室」があります。現在の状況を考慮して、先週の日曜日にも放送がありました。

小学1年生が「おたまじゃくしはどうしてカエルの形でうまれてこないのですか？」という質問をしました。「うーん、自分だったらどう説明するかな」と考えてみましたが、まとまりません。しかし、専門の先生と司会の人ばかりわかりやすく伝えていました。

難しい内容もわかりやすく説明するのがプロだと痛感しました。

## 黙ってするのは難しい？

楽しい昼休みの後は、掃除の時間です。気持ちを切り替え、今年度も「無言清掃」に取り組んでいます。「黙って掃除をする」ことは簡単そうですが、つい、友だちと話に夢中になるなど、意外と難しいようです。



「無言清掃」は担当している場所をきれいにするだけでなく、「集中・感謝・発見」など自分の心を磨く時間でもあります。今後の成長が楽しみです。

## 南（みな見）るNEWS

昨年から本校では、自分のふるさとに愛着と誇りをもつ子どもたちに育てて欲しいと考え、「ふるさと教育」に取り組んでいます。校舎2階の中央階段の掲示板に、ふるさとの話題、出来事等を紹介しています。来校の際には、是非ご覧ください。

（みんなに見て欲しい、南有馬・南島原のニュースの意味を込めたネーミングです。）

## 立場が人を変える

運動会の応援リーダーとなり、意識が高まる等、大きな行事を通して成長を感じる事がよくあります。しかし現在は、そういう場面が限られていて、残念に思っていました。しかし、日常の活動の中でも子どもたちが着実に成長をしているのを見つけました。



5・6年生の生活委員会の人たちが、登校してくる子どもたちに元気な挨拶をしています。昨年までもこの取組は行われていたのですが、今年は地域の人にも元気な挨拶ができるようになりました。また、車に乗っている方にも、会釈をするなど気持ちのいい挨拶が広がってきています。

「挨拶をしたほうがいいとわかっているけど、恥ずかしい」という気持ちから、生活委員会になって、高学年としてなど、その立場になったことで気持ちに変化が出ています。さわやかな朝の出来事です。